あきる野市教育目標「人が育ち 人が輝く あきる野の教育」（スローガン：大人が手本・**子供が主役**のあきる野市）

創立１５０周年（明治６年創立）

ハートフル多西

令和５年１１月３０日(木)
あきる野市立多西小学校
校　長　小　原　太　一

語れたら、ばっちりです

副校長　宮澤 成通

１１月２４日（金）・２５日（土）には、展覧会が開催されました。１日目は児童鑑賞日で、お休みの関係で全ての学級で実施することはできませんでしたが、高学年と低学年のきょうだい学級で鑑賞を行いました。様子を見ていると、上の学年の人たちはなるべく分かりやすく、下の学年の人たちは一生懸命に作品の説明をしている姿が印象的でした。また、２年前の前回は新型コロナウイルス感染防止対策をとりながらの実施でしたが、今回は多くの方々にいろいろお話ししてもらいながら、ご覧いただくことができました。観ていただいた方からの感想を聞くと「一人一人、その子らしさが出ていましたね。」というご意見を多くいただいたような気がします。今回のスローガンである「輝かそう！自分らしさ～カラフル・ワールド～」を全ての学年で達成することができたようで、うれしく思いました。

２学期に入っても大変な暑さが続いている頃に、ある学年が展覧会の作品を作っている様子を見せてもらったことがあります。エアコンがついている図工室で、じっと作品を見つめながら作っている子、友達と作品について話しながら手を動かしている子、先生とこの後の展開について相談している子と様々でしたが、みんな作品に真剣に向き合っていることが感じられました。何人かの子に作品の設定について質問してみると「この階段はね、外につながっているんだよ！」「雨が降ったら、ここで雨宿りができるよ。」など、どの子も楽しそうに語ってくれるので、これもまたうれしく思いました。

学習指導要領では、図画工作の目標の次のように示されています。大切なところをまとめてお伝えさせていただくと、目標の一つめは「創造的につくったり表したりすることができる」こと、二つ目は「創造的な発想や構想をしたり、見方や感じ方を深めたりすることができる」こと、三つ目は「豊かな情操を培う」ことです。つまり、上手に絵を描いたり作品を作ったりすることが主たる目標ではありません。作るということを通して、こうしてみようかな？こうやったらどうかな？と考えることを大切にしています。そのことによって感性が高まっていき、それが生活全般を楽しく豊かなものにすることにつながっていきます。

先ほど登場した自分の作品についてとても楽しそうに語っていた子供たちは、作品の世界にどっぷりとつかって、設定や表現の工夫をめいっぱい行っていました。そう考えると、今回の展覧会を通して創造的な発想や構想をもつ経験ができていたのではないかと感じます。また、作品についての自分のがんばりポイントをまとめ、伝わるように話す（語る）ことは、自分の考えを整理して、それが新たな創造につながっていきます。

気持ちをことばにして表すことは、とても大切なことです。そのままではぼやっとしている心の動きに「うれしい」「楽しい」などのことばのラベルを付けてあげることで、思いや考えを他の人たちと共有することができます。きょうだい学級で交流しながら作品について相手に伝わるように説明した経験は、きっと子供たちの中で生きていくことと思います。展覧会は終わりましたが、ご家庭でも作品の出来だけでなく、設定や工夫したところなどについて語る機会をもっていただけるとありがたいです。

今後とも子供たちの成長のために、ご協力のほどよろしくお願いいたします。